

若手会員発表口演

Y-01 ～ Y-07

A 会場

10月11日(土) 9:00～10:45

座長：後藤 遼佑

Y-01 9:00～9:15

ヒト上科に特異的な肩甲挙筋・前鋸筋の形態：霊長類比較解剖に基づく機能形態学的考察

○姉帯 沙織¹、時田 幸之輔¹、姉帯 飛高²、小島 龍平¹、鳥海 拓³、平崎 鋭矢⁴、遠藤 秀紀⁵

¹ 埼玉医大・保健医療・理学療法、² 順天堂大・保健医療・理学療法、³ 日本歯科大学・新潟生命歯学部・解剖学 1、⁴ 京大・EHUB、⁵ 東京大・総合研究博

Y-02 9:15～9:30

腰部の可動性が生み出す二足歩行戦略の差異：ニホンザルとテナガザルの体幹運動の比較

○安富 祐人^{1,2}、設楽 哲弥¹、西村 剛¹

¹ 大阪大学大学院人間科学研究科、² 関西医科大学リハビリテーション学部

Y-03 9:30～9:45

解剖学的に精密なヒト手部筋骨格モデルに基づくヒト長母指屈筋の機能解析

○石橋 咲¹、荻原 直道¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

Y-04 9:45～10:00

足底腱膜がヒト二足歩行時の力生成と足部運動に与える影響

○松本 優佳^{1,2}、伊藤 幸太^{1,3}、荻原 直道¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科、² 埼玉県立大学研究開発センター、³ 大阪大学大学院人間科学研究科

Y-05 10:00～10:15

ヒト成人における四足歩行の運動パターンの予備的分析

○藤原 歩¹、荻原 直道¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

座長：大野 憲五

Y-06 10:15～10:30

縄文・弥生時代人と現代日本人における脳頭蓋内腔の三次元形態比較

○高木 蔵之助¹、天野 英輝¹、米元 史織²、荻原 直道¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻、² 九州大学総合研究博物館

Y-07 10:30～10:45

現代日本人頭蓋骨形態における性差の拡大

○白井 詩織^{1,2}、天野 英輝¹、今泉 和彦²、早川 秀幸³、塩谷 清司⁴、荻原 直道¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻、² 科学警察研究所、³ 筑波剖検センター、⁴ 聖隷富士病院放射線科

若手会員発表口演

Y-08 ～ Y-15

A 会場

10 月 11 日 (土) 10:45 ～ 12:00 、 13:00 ～ 13:45

Y-08 10:45 ～ 11:00 咬耗の定量化による大白歯列咬耗進行の分析と年齢推定

○中村 凱¹、近藤 修¹

¹ 東京大院理

Y-09 11:00 ～ 11:15 耳状面前溝の発達傾向と骨盤形態との関連について (第 2 報)

○中村 謙伸^{1,2}、近藤 修¹、森 菜緒子³、小野 有紀⁴、安達 登⁵、河野 礼子⁶、寺田 幸弘⁴

¹ 東京大学大学院 理学系研究科 形態人類学研究室、² 聖マリアンナ医科大学 解剖学講座、³ 秋田大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座、⁴ 秋田大学大学院 医学系研究科 産婦人科学講座、⁵ 山梨大学 医学部 法医学講座、⁶ 慶應義塾大学 文学部

Y-10 11:15 ～ 11:30 古代北海道の海洋狩猟民であるオホーツク文化期人の上腕骨形態：集団内および集団間の差異の分析

○岡田 茉莉¹

¹ 札幌医科大学大学院保健医療学研究科

座 長：岡崎 健治

Y-11 11:30 ～ 11:45 縄文時代における焼人骨葬の復元

○逢坂 暖¹、奈良 貴史²、澤田 純明²、古澤 妥史³、米田 穰^{1,4}

¹ 東京大学新領域創成科学研究科、² 新潟医療福祉大学 自然人類学研究所、³ 阿賀野市教育委員会、⁴ 東京大学総合研究博物館

Y-12 11:45 ～ 12:00 人骨のタフォノミー痕跡からみた縄文後期関東の多数合葬・複葬例における遺骨の取り扱い方

○皆川 真莉母¹

¹ 東京都立大学 人文社会学部 統合生物考古学研究室

Y-13 13:00 ～ 13:15 近世江戸における口腔衛生状況の比較検討—年齢差・階層差・男女差—

○蓮田 賀子¹

¹ 九州大学大学院地球社会統合科学府基層構造講座

Y-14 13:15 ～ 13:30 食糧生産民との関係性が狩猟採集民に与える影響：存続性と食餌幅の観点から

○河西 幸子¹、井原 泰雄¹

¹ 東京大学理学系研究科生物科学専攻

Y-15 13:30 ～ 13:45 Agent-based Simulation を用いたヤポネシアの集団動態推定—弥生時代の渡来・稲作伝播と擦文・アイヌ文化期の集団接触を事例に—

○春日 勇人¹、WEST STEPHEN²、白鳥 詩織³

¹ 京都芸術大学、² 岡山大学、³ 中央大学

若手会員発表口演

Y-16 ～ Y-20

A 会場

10 月 11 日 (土) 13:45 ～ 15:00

座 長：神澤 秀明

Y-16 13:45 ～ 14:00 弥生人と縄文人の高深度全ゲノム解析が明らかにした遺伝的背景とデンプン食適応への新たな洞察

○石谷 孔司^{1,6}、水野 文月²、五條堀 淳³、熊谷 真彦⁴、谷口 康浩⁵、近藤 修⁶、松下 孝幸⁷、松下 真実⁷、王 瀝⁸、黒崎 久仁彦²、植田 信太郎^{2,6}

¹金沢大・サビエンス進化医学研究センター、²東邦大・医学部、³総研大・統合進化科学研究センター、⁴農研機構・高度分析研究センター、⁵國學院大・文学部、⁶東京大大学院・理学系研究科、⁷土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、⁸総研大・先端科学研究科

Y-17 14:00 ～ 14:15 大深町遺跡出土人骨の歯石プロテオーム分析による近世大坂庶民の食性復元

○福原 瑤子¹、飯田 真理子²、大庭 重信^{3,4}、澤藤 りかい⁵、藤澤 珠織⁶、長岡 朋人⁷、蔦谷 匠¹

¹総合研究大学院大学、²大阪市教育委員会、³大阪府文化財センター、⁴古代学協会、⁵九州大学、⁶青森中央学院大学、⁷青森公立大学

Y-18 14:15 ～ 14:30 炊飯から考える農耕と農業 ― 朝日遺跡の同位体分析より ―

○余 甫倩¹、原田 幹²、米田 穰^{1,3}

¹東京大・先端生命、²あいち朝日遺跡ミュージアム、³東京大・総研博

Y-19 14:30 ～ 14:45 オマーン出土の糞石ゲノムを対象とした家畜ヤギ系統解析と植物性摂食物推定

○本間 友理¹、渡部 裕介¹、小金淵 佳江¹、板橋 悠²、黒沼 太一³、三木 健裕⁴、近藤 康久^{5,6}、太田 博樹¹

¹東京大学大学院理学系研究科、²筑波大学人文社会系、³東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、⁴慶應義塾大学文学部、⁵人間文化研究機構総合地球環境学研究所、⁶総合研究大学院大学総合地球環境学コース

Y-20 14:45 ～ 15:00 縄文人ゲノムの時代的变化に関する検討

○加藤 雅彦¹、水野 文月²、中 伊津美¹、青砥 早希³、谷口 康浩⁴、近藤 修¹、松下 真実⁵、松下 孝幸⁵、門叶 冬樹⁶、佐宗 亜衣子⁷、米田 穰⁸、林 美千子²、王 瀝⁹、石谷 孔司¹⁰、渡部 裕介¹、一色 真理子¹、黒崎 久仁彦²、植田 信太郎¹、大橋 順¹

¹東京大学大学院理学系研究科、²東邦大学医学部、³国立成育医療研究センター、⁴國學院大学文学部、⁵土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、⁶山形大学理学部、⁷新潟医療福祉大学自然人類学研究所、⁸東京大学総合研究博物館、⁹総合研究大学院大学、¹⁰金沢大学サビエンス進化医学研究センター

若手会員発表口演

Y-21 ~ Y-26

A 会場

10 月 11 日 (土) 15:00 ~ 16:30

座 長：水野 文月

Y-21 15:00 ~ 15:15 ポリジェニックリスクスコアを用いた縄文人の疾患リスクの評価

○木曾 菜穂¹、脇山 由基¹、渡部 裕介¹、小金淵 佳江¹、大橋 順¹、太田 博樹¹

¹ 東京大学院理

Y-22 15:15 ~ 15:30 現代日本人ゲノムに刻まれた渡来系女性にかたよる祖先構造

○渡部 裕介¹、脇山 由基¹、大橋 順¹、太田 博樹¹

¹ 東大・院理

Y-23 15:30 ~ 15:45 縄文人由来ゲノムの保有率が異なる細胞を用いた遺伝子発現解析と iPS 細胞の樹立

○中村 友香¹、渡部 裕介¹、田辺 秀之²、東 光一³、黒川 顕³、豊田 敦³、加藤 智朗⁴、塚原 正義⁴、小金淵 佳江¹、石田 貴文¹、大橋 順¹、太田 博樹¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科、² 総合研究大学院大学統合進化科学研究センター、³ 国立遺伝学研究所、⁴ 京都大学 iPS 細胞研究財団研究開発センター

Y-24 15:45 ~ 16:00 現生人類に固有のクロノタイプの遺伝的変化と緯度との相関

○濱元 祥子¹、森谷 悠香¹、樋口 重和⁴、手島 康介²、早川 敏之³

¹ 九州大・院システム生命科学、² 九州大・理、³ 九州大・基、⁴ 九州大学芸術工学研究院

Y-25 16:00 ~ 16:15 Paleolithic origin of human color vision diversity

○ Yizhen Wang¹, Yuka Matsushita¹, Kae Koganebuchi², Yusuke Watanabe², Yoshiki Wakiyama², Hiroki Oota², Amanda D. Melin³, Shoji Kawamura¹

¹Department of Integrated Biosciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, ²Department of Bioscience, Graduate School of Science, The University of Tokyo, ³Department of Anthropology and Archaeology, University of Calgary, Canada

Y-26 16:15 ~ 16:30 古代ゲノム情報を用いた先史時代の南米ポリビアにおける人口動態推定

○片岡 梨沙子¹、小金淵 佳江¹、渡部 裕介¹、脇山 由基¹、藤木 雅¹、中村 友香¹、吉田 光希¹、Guido Valverde²、Adrian A. Davin³、太田 博樹¹

¹ 東京大学大学院 理学系研究科、² Eurac Research, Institute for Mummy Studies、³ Institute of Microbiology ETH Zürich, Zurich, Switzerland

進化人類学分科会シンポジウム (S1)

猿まわしサルのコモーション研究：過去・現在・未来

A 会場

10 月 10 日 (金) 14:00 ～ 16:00

オーガナイザー：荻原 直道 (東京大学)

S1-01

40 年にわたる猿まわしサルの研究

○中務 真人¹、荻原 直道²、平崎 鋭矢³

¹ 京都大学大学院理学研究科、² 東京大学大学院理学系研究科、³ 京都大学ヒト行動進化研究センター

S1-02

猿まわしサルを調べる意味

○平崎 鋭矢¹、荻原 直道²、中務 真人³

¹ 京都大学ヒト行動進化研究センター、² 東京大学理学系研究科、³ 京都大学理学研究科

S1-03

猿まわしサルの二足歩行の生体力学的解析

○荻原 直道¹、平崎 鋭矢²、中務 真人³

¹ 東京大学大学院理学系研究科、² 京都大学ヒト行動進化研究センター、³ 京都大学大学院理学研究科

S1-04

サルとの関係性が拓くコモーション研究—四足歩行における四肢の運び順について

○後藤 遼佑¹

¹ 群馬大学リハビリテーション学部

S1-05

足部構造の違いは二足歩行をどう変えるか？—ニホンザルによる進化的再考—

○伊藤 幸太¹

¹ 産総研・AIRC・DHRT

ヒト・霊長類比較解剖学分科会シンポジウム (S2)

ヒトを含めた哺乳類前腕筋群の比較形態学 ：霊長類と有袋類の所見から

A 会場

10 月 10 日 (金) 16:00 ～ 18:00

オーガナイザー：後藤 遼佑 (群馬パース大学)

S2-01

広鼻猿における前腕伸筋群の形態とその機能的意義

○鈴木 莉琴¹、姉帯 沙織²、姉帯 飛高³、小島 龍平²、時田 幸之輔²

¹ イムス富士見総合病院・リハビリ、² 埼玉医科大学・保健医療・理学療法、³ 順天堂大学・保健医療・理学療法

S2-02

霊長類における浅指屈筋を中心とした前腕屈筋群の形態と支配神経パターン

○江村 健児¹

¹ 四條畷学園大学リハビリテーション学部

S2-03

コアラ前腕筋群の観察と霊長類との比較による収斂進化と種特異性の検討

○重光 大暉¹、姉帯 沙織^{2,3,4}、姉帯 飛高⁵、東島 沙弥佳^{6,7}、小島 龍平²、Jaliya Kumaratilake⁸、Chris Leigh⁹、時田 幸之輔²

¹ 埼玉医科大学総合医療センター、² 埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科、³ 東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻、⁴ 東京大学総合研究博物館、⁵ 東京工科大学医療保険学部看護学科、⁶ 京都大学白眉センター、⁷ 京都大学総合博物館、⁸ Adelaide Medical School, The University of Adelaide、⁹ Division of Research and Innovation, The University of Adelaide

骨考古学分科会シンポジウム (S3)

焼骨の基礎的研究

B 会場

10 月 10 日 (金) 16:00 ～ 18:00

オーガナイザー：奈良 貴史（新潟医療福祉大学）

S3-01 出土焼骨研究の現状と課題

○奈良 貴史¹

¹新潟医療福祉大学・自然人類学研究所

S3-02 出土焼人骨の基礎的研究－新潟県土橋遺跡 C316 焼人骨の事例から－

○古澤 妥史¹、奈良 貴史²

¹新潟医療福祉大学医療福祉学研究科、²新潟医療福祉大学自然人類学研究所

S3-03 煨焼骨における同位体分析

○米田 穰^{1,2}、逢坂 暖²、澤田 純明³、奈良 貴史³

¹東京大・総研博、²東京大・先端生命科学、³新潟医福大・自然人類学研

S3-04 焼骨年代測定の高精度化

○逢坂 暖¹、奈良 貴史²、澤田 純明²、米田 穰^{1,3}

¹東京大学新領域創成科学研究科、²新潟医療福祉大学自然人類学研究所、³東京大学総合研究博物館

人類学研究倫理委員会シンポジウム (S4)

アイヌ研究の過去と未来

B 会場

10 月 11 日 (土) 16:30 ～ 18:30

オーガナイザー：近藤 修 (東京大学)

S4-01 アイヌ遺骨問題に学会としてどう向き合うか：これまでとこれから

○海部 陽介¹

¹ 東京大・総合研究博物館

S4-02 アイヌ人骨による形質人類学研究の振り返り

○近藤 修¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科

S4-03 アイヌ遺伝研究の現状と未来

○安達 登¹

¹ 山梨大・法医

(コメンテーター)

①佐藤 丈寛 (琉球大学)

②佐藤 桃子 (理化学研究所)

人類学普及委員会シンポジウム (S5)

人類学の何をどのように教育現場で教えるのか 次期指導要領改訂にむけた PR と論点整理

A 会場

10 月 12 日 (日) 9:00 ～ 10:30

オーガナイザー：矢野 航（防衛医科大学校）

- S5-01** **自然人類学の何を、いつ、どのように小・中・高の教育現場で教えるのか**
○松村 秋芳¹
¹ 神奈川大学化学生命学部
- S5-02** **高校の生物教育において人類進化をどう扱うか**
○市石 博¹
¹ 東京都立国分寺高等学校
- S5-03** **諸外国教科書における人類進化教育の比較**
○矢野 航¹
¹ 防衛医科大学校再生発生学講座
- S5-04** **近年の古人類学における「教科書を書き換える」発見の紹介**
○蔦谷 匠¹
¹ 総研大・統合進化

一般シンポジウム (S6)

動植物ゲノムから日本列島先史文化を考える by 学術変革領域研究 A「統合生物考古学」

B 会場

10 月 12 日 (日) 9:00 ～ 10:30

オーガナイザー：木村 亮介（琉球大学）
長田 直樹（北海道大学）

S6-01 ハツカネズミから知る人類の歴史

○長田 直樹¹

¹ 北海道大学大学院情報科学研究院

S6-02 狩猟採集から農耕社会への変遷によるイヌの食性の適応進化

○寺井 洋平¹

¹ 総合研究大学院大学統合進化科学研究センター

S6-03 アズキの栽培化起源を巡る集団ゲノム解析

○内藤 健¹

¹ 農研機構遺伝資源研究センター

一般シンポジウム (S7)

環境適応とその多様性Ⅲ ～感覚と大規模データがもたらすヒトの過去・現在・未来

B 会場

10 月 12 日 (日) 15:30 ～ 17:30

オーガナイザー：太田 博樹（東京大学）

S7-01 霊長類としてのヒトの色覚と嗅覚の多様性

○河村 正二¹

¹ 東京大学大学院新領域創成科学研究科・先端生命科学専攻

S7-02 大規模データから見たヒトの現在と未来

○湯田 恵美^{1,2}

¹ 三重大学研究推進基盤機構半導体・デジタル未来創造センター、² 東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻

S7-03 感情・内受容感覚の適応的意義

○元村 祐貴¹

¹ 九州大学大学院芸術工学研究院

S7-04 大規模シーケンスデータがもたらす過去の人々の資源利用

○澤藤 りかい¹

¹ 九州大学大学院比較社会文化研究院

一般シンポジウム (S8)

縄文を問い直す：人、社会、文化の再構築

A 会場

10 月 13 日 (月) 10:00 ～ 12:00

オーガナイザー：植田 信太郎 (東京大学)

S8-01 縄文人を再考する—人骨形態からみた時期差と地域差—

○近藤 修¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科

S8-02 縄文早期居家以岩陰遺跡出土人骨の親族関係の復元

○水野 文月¹

¹ 東邦大学医学部

S8-03 日本列島の縄文文化と周辺地域

○水ノ江 和同¹

¹ 同志社大学文学部文化史学科

S8-04 縄文文化の多様性—日本列島内の地域性と年代の変遷—

○谷口 康浩¹

¹ 國學院大學文学部

キネシオロジー分科会シンポジウム (S9)

直立二足歩行における体幹と下肢の協調

B 会場

10 月 13 日 (月) 10:00 ~ 12:00

オーガナイザー：松村 秋芳（神奈川大学）
伊藤 幸太（産業技術総合研究所）

S9-01 体幹か下肢か：脊柱エンジン説再考

○平崎 鋭矢¹、後藤 遼佑²、設楽 哲弥³、長谷 和徳⁴

¹ 京都大学ヒト行動進化研究センター、² 群馬パース大学リハビリテーション学部、³ 大阪大学人間科学研究科、⁴ 東京都立大学システムデザイン研究科

S9-02 霊長類二足・四足歩行時の体幹運動の比較

○安富 祐人^{1,2}

¹ 大阪大学大学院人間科学研究科、² 関西医科大学リハビリテーション学部

S9-03 後方歩行にみる体幹筋と重心の協調

○岡 健司¹

¹ 大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部理学療法専攻

S9-04 ヒト中殿筋・小殿筋の二足ロコモーションへの最適化

○設楽 哲弥¹

¹ 大阪大学大学院人間科学研究科

S9-05 歩行速度変化は下肢協調制御にどのような影響を与えるのか？

○安陪 大治郎¹

¹ 九州産業大学健康・スポーツ科学センター

S9-06 チンパンジーの後肢筋シナジーから考える二足歩行の起源

○後藤 遼佑¹

¹ 群馬パース大学リハビリテーション学部

一般口演

O-01 ～ O-08

A 会場

10 月 11 日 (土) 16:30 ～ 18:30

座 長：菊池 泰弘

O-01 16:30 ～ 16:45 マカクザルの腰椎の機械的性質から考えるその運動機能

○日暮 泰男¹、戒能 靖史¹、岡本 士毅^{1,4}、上田 政洋²、宮崎 清孝²、寺田 達二²、伊藤 望美²、吉寄 響子^{3,4,5}、櫻井 優^{3,4}、森本 将弘³

¹ 山口大・共同獣医・獣医生理学・生化学、² 山口大学・総合技術部、³ 山口大学・共同獣医・獣医病理学、⁴ 山口大学・細胞デザイン医科学研究所、⁵ 山口大学・One Welfare 国際研究センター

O-02 16:45 ～ 17:00 ゴリラにおけるナックルウォークの生体力学的特徴：チンパンジーとの比較分析

○伊藤 滉真¹、田中 正之²、吉田 信明³、荻原 直道¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻、² 京都市動物園、³ 京都高度技術研究所

O-03 17:00 ～ 17:15 テングザルにおける外鼻による音声の個性形成について

○西村 剛¹、吉谷 友紀²、宮崎 琳太郎²、清野 悟³、枝村 一弥⁴、村田 浩一⁵、松田 一希⁶、徳田 功²

¹ 大阪大学大学院人間科学研究科、² 立命館大学理工学部、³ 横浜市繁殖センター、⁴ 日本大学生物資源科学部、⁵ よこはま動物園ズーラシア、⁶ 京都大学野生動物研究センター

O-04 17:15 ～ 17:30 霊長類の肉食行動の進化再考 3

○五百部 裕¹

¹ 梶山女学園大学・人間関係学部

座 長：山崎 真治

O-05 17:30 ～ 17:45 普天満宮洞穴遺跡の古相文化

○新里 貴之¹、宮城 弘樹¹、黒住 耐二²、樋泉 岳二³

¹ 沖縄国際大学総合文化学部、² ウルマ自然史研究所、³ 早稲田大学

O-06 17:45 ～ 18:00 居家以岩陰遺跡出土 1 号人骨の復顔

○戸坂 明日香¹、谷口 康浩²、近藤 修³

¹ 京都大学大学院理学部、² 國學院大學文学部、³ 東京大学大学院理学系研究科

O-07 18:00 ～ 18:15 縄文時代と弥生時代の人口構造—年齢構成と出生率—

○五十嵐 由里子¹、香川 幸太郎²、水高 将吾³、清水 邦夫⁴

¹ 日本大学松戸歯学部、² 国立遺伝学研究所、³ 茨城大学、⁴ 統計数理研究所

O-08 18:15 ～ 18:30 オコゲと人骨の同位体分析による縄文農耕論の検証

○米田 穰¹、阿部 芳郎²、中沢 道彦³、栗島 義明³

¹ 東京大・総研博、² 明治大・文、³ 明治大・研究・知財

一般口演

O-09 ～ O-16

A 会場

10 月 12 日 (日) 15:30 ～ 17:30

座 長：清水 大輔

O-09 15:30 ～ 15:45 宗教的カリスマと移動する先住民：第三次台湾海峡危機を背景とした歴史人類学的考察

○ Fasa' Namoh (法撒克那墨禾) ¹

¹Graduate Institute of Building and Planning, National Taiwan University

O-10 15:45 ～ 16:00 The Role of the Anthropological Society on Korean Physical Anthropology

○ CHO, H.¹, WOO, E.²

¹Dept. of Anthropology, Davidson College, USA ²Dept. of History, Sejong Univ., South Korea

O-11 16:00 ～ 16:15 父親による子育ての文化伝達

○中橋 渉 ¹

¹ 早稲田大学社会科学総合学術院

O-12 16:15 ～ 16:30 犬の導入による人類の狩猟スタイルの変化

○池谷 和信 ¹

¹ 国立民族学博物館

座 長：蔦谷 匠

O-13 16:30 ～ 16:45 ヒトとネアンデルタール人の大腿骨形状比較から予測される歩容の違い

○林 宏 ¹、松村 秋芳 ²

¹茨城県立中央病院整形外科、² 神奈川大学化学学生命学部

O-14 16:45 ～ 17:00 ヒトにおける胎児から乳幼児期の 3 次元脳形態成長パターン分析

○天野 英輝 ¹、荻原 直道 ¹

¹ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

O-15 17:00 ～ 17:15 mtDNA 集団データからみる土井ヶ浜遺跡のヒト集団

○五條堀 淳 ¹、水野 文月 ²、松下 真実 ³、松下 孝幸 ³、黒崎 久仁彦 ²、植田 信太郎 ⁴

¹ 東総研大・RCIES、² 東邦大・医、³ 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、⁴ 東京大・理

O-16 17:15 ～ 17:30 A High-Coverage Yayoi Genome Provides Insights into Population History and Phenotypes of Ancient Japanese

○KIM, J.¹, MIZUNO, F.², MATSUSHITA, T.³, MATSUSHITA, M.³, NAKA, I.¹, HAYASHI, M.², KUROSAKI, K.², UEDA, S.¹, and OHASHI, J.¹

¹Dept. of Biol. Sci., Grad. Sch. of Sci., Tokyo Univ., ² Dept. of Legal Med., Toho Univ. Sch. of Med., ³ The Doigahama Site Anthropol. Mus.

一般口演

O-17 ～ O-20

A 会場

10 月 13 日 (月) 9:00 ～ 10:00

座 長：大橋 順

- O-17 9:00 ～ 9:15 徳之島の洞窟遺跡（コウモリイヨウ・下原洞穴）の古代土壌 DNA 解析**
- 澤藤 りかい^{1,2}、石原 与四郎³、陶山 佳久⁴、具志堅 亮⁵、佐野 勝宏⁶、Mikkel W. Pedersen²
- ¹九州大学院・比較社会文化研究院、²コペンハーゲン大学 Globe Institute、³福岡大学・理学部、⁴東北大学・農学研究科、⁵天城町教育委員会、⁶東北大学・東北アジア研究センター
- O-18 9:15 ～ 9:30 古代ゲノム解析から探る琉球列島のグスク時代**
- 松波 雅俊¹、河合 洋介²、シュパイデル 玲雄³、角田 恒雄⁴、瀧上 舞⁵、安達 登⁴、玉城 靖⁶、片桐 千亜紀⁷、竹中 正巳⁸、今村 美菜子¹、木村 亮介¹、篠田 謙一⁹、神澤 秀明⁵
- ¹琉球大・院医、²国立国際医療研究科、³理化学研究所、⁴山梨大・法医、⁵科博・生命史、⁶今帰仁村歴史文化センター、⁷沖縄県教育庁文化財課、⁸鹿児島女子短大、⁹科博
- O-19 9:30 ～ 9:45 複合的アプローチによるヒトの寒冷適応遺伝子の探索**
- 石田 悠華¹、松下 真美²、米代 武司³、斉藤 昌之^{2,4}、○中山 一大¹
- ¹東京大学大学院新領域創成科学研究科、²天使大学看護栄養学部、³東北大学大学院医学系研究科、⁴北海道大学獣医学研究院
- O-20 9:45 ～ 10:00 ターゲットキャプチャー法を用いた糞石ゲノム解析による植物性摂食物推定**
- 藤木 雅¹、小金淵 佳江¹、渡部 裕介¹、澤藤 りかい²、村野 由佳利¹、鯨本 真友美³、中村 豊⁴、米田 穰⁵、山田 康弘⁶、石田 貴文¹、熊谷 真彦⁷、太田 博樹¹
- ¹東京大・院理、²九州大・院比較社会、³若狭歴史博物館、⁴立命館大・文、⁵東京大・総合博、⁶都立大・人文科学、⁷農研機構

一般口演

O-21 ～ O-24

B 会場

10 月 13 日 (月) 9:00 ～ 10:00

座 長：澤田 純明

- O-21 9:00 ～ 9:15 バヤン・ボラク城址と出土人骨・動物骨の基礎的な整理作業**
○岡崎 健治¹、米元 史織²、菊地 大樹³、大谷 育恵⁴、覚張 隆史³、Odongoo Ravdandorj³、Mijiddorj Enkhbayar⁵、Iderkhangai Tumor-Ochir⁵、Erdenebaatar Hatagin⁵、Alexei Kovalev⁶
¹鳥取大学医学部、²九州大学総合研究博物館、³金沢大学古代文明・文化資源学研究所、⁴京都大学白眉センター、⁵National University of Mongolia, Department of Archaeology and Anthropology、⁶Russian academy of sciences, Institute of Archaeology
- O-22 9:15 ～ 9:30 更新世末から完新世中期のアジア南東部に拡散した燻シミイラの風習：理化学的分析による裏付け**
○松村 博文¹、洪 曉純²、邓 振华³
¹札幌医大・解剖、²オーストラリア国立大・考古自然史、³北京大・文博
- O-23 9:30 ～ 9:45 ルイス・ビンフォードと金関丈夫－戦後沖縄をめぐる研究者群像**
○山崎 真治¹
¹沖縄県立博物館・美術館
- O-24 9:45 ～ 10:00 実験航海とシミュレーションでさぐる後期旧石器時代の黒潮横断**
○海部 陽介¹、張 育綾²、宮澤 泰正²、郭 新宇³
¹東京大・総合研究博物、²海洋研究開発機構・アプリケーションラボ、³愛媛大・先端研究院

ポスター発表

P-01 ～ P-09

C 会場

10月12日(日) 11:00～12:00: 奇数番号 14:30～15:30: 偶数番号

P-01 神奈川県三浦半島西ノ浜洞穴遺跡から出土した弥生～古墳時代の人骨

○佐伯 史子¹、佐宗 亜衣子¹、米田 穰²、水嶋 崇一郎³、澤田 純明¹

¹新潟医療福祉大学自然人類学研究所、²東京大学総合研究博物館、³聖マリアンナ医科大学解剖学講座

P-02 沖永良部島イクサイヨー洞穴遺跡第6次発掘調査速報

○竹中 正巳¹、大西 智和²、鐘ヶ江 賢二³、中村 直子⁴、寒川 朋枝⁴、緒方 大揮¹、仲田 眞一郎⁵

¹鹿児島女子短大、²鹿児島国際大・国際文化、³鹿児島国際大・ミュージアム、⁴鹿児島大・埋文調査センター、⁵知名町教委

P-03 石垣島白保竿根田原洞穴遺跡出土の歯について(続報)

○河野 礼子¹、片桐 千亜紀²、土肥 直美

¹慶應大・文、²沖縄県教育庁

P-04 長崎県浜郷遺跡出土弥生人骨の椎体病変

○久保 大輔¹、遠藤 大輔²、佐伯 和信²、弦本 敏行²、高村 敬子²、米田 穰³

¹北海道大学総合博物館、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、³東京大学総合研究博物館

P-05 由比ガ浜集団墓地遺跡から出土した病変人骨について

○森 俊輔¹、吉田 皓文¹、萩原 康雄¹、奈良 貴史¹

¹新潟医療福祉大学

P-06 極楽寺遺跡から出土した中世人骨にみられるハンセン病の疑いに関する調査

○Katherine Hampson¹、蔦谷 匠¹、澤藤 りかい²

¹総合研究大学院大学統合進化科学研究センター、²九州大学大学院比較社会文化研究院

P-07 齧歯類の咬痕が示唆する遺体の置かれた環境

○永島 萌¹、片桐 千亜紀²、大藪 由美子³、佐藤 孝雄⁴、河野 礼子⁴

¹慶應義塾大学大学院文学研究科、²沖縄県教育庁文化財課、³土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、⁴慶應義塾大学文学部

P-08 北部九州及び西北九州弥生人成人男性大腿骨形態のCT画像に基づく定量的解析と比較

○遠藤 大輔¹、福田 晃子²、藤田 快²、佐伯 和信¹、弦本 敏行¹、高村 敬子¹

¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科肉眼解剖学分野、²長崎大学医学部医学科

P-09 日本列島集団の中手・中足骨の相対長について

○萩原 康雄¹

¹新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科

ポスター発表

P-10 ～ P-17

C 会場

10月12日(日) 11:00～12:00: 奇数番号 14:30～15:30: 偶数番号

P-10 ヒト胎児における大脳基底核原基の形成過程の検討

○熊谷 美優¹、金橋 徹¹、藤井 瀬菜¹、今井 宏彦²、大谷 浩³、多賀 徹太郎⁴、山田 重人^{1,5}、高桑 徹也¹

¹ 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、² 岐阜大学医学部附属量子医学イノベーションリサーチセンター、³ 島根大学学長、⁴ 東京大学大学院教育学研究科、⁵ 京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター

P-11 胚子期から胎児期初期にかけてのヒトの足部の形態形成

○倭 友希¹、田村 祥太郎¹、松田 幸樹¹、松林 潤²、藤井 瀬菜¹、金橋 徹¹、今井 宏彦³、米山 明男⁴、山田 重人^{1,5}、高桑 徹也¹

¹ 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、² 滋賀医科大学医学部附属病院臨床研究開発センター、³ 岐阜大学医学部附属量子医学イノベーションリサーチセンター、⁴ 九州シンクロトロン光研究センター、⁵ 京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター

P-12 出産のジレンマを緩和するヒト骨盤と大腿骨の形態共変異

○富澤 美風¹

¹ 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻

P-13 歩行速度がヒト固有背筋の活動にみられる分節間の位相差に及ぼす影響

○後藤 遼佑¹、仲保 徹²、加賀谷 善教²

¹ 群馬大学リハビリテーション学部、² 昭和医科大学保健医療学部

P-14 ヒト胎児骨盤傾斜角の性差の検討

○金橋 徹¹、松林 潤²、今井 宏彦³、山田 重人^{1,4}、大谷 浩⁵、高桑 徹也¹

¹ 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻、² 滋賀医科大学医学部附属病院臨床研究開発センター、³ 岐阜大学医学部附属量子医学イノベーションリサーチセンター、⁴ 京都大学医学研究科附属先天異常標本解析センター、⁵ 島根大学学長

P-15 ヒト胎児期初期における歯胚の三次元解析

○青江 春菜¹、松林 潤²、藤井 瀬菜¹、金橋 徹¹、今井 宏彦³、大谷 浩⁴、山田 重人^{1,5}、高桑 徹也¹

¹ 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、² 滋賀医科大学医学部附属病院臨床研究開発センター、³ 岐阜大学医学部附属量子医学イノベーションリサーチセンター、⁴ 島根大学学長、⁵ 京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター

P-16 人工変形頭蓋と正常頭蓋における下顎骨形態の比較研究

○金 亨哲¹

¹ 国立加耶文化遺産研究所

P-17 胸囲、肩幅、三角筋重量と骨格計測値の関係

○加賀谷 美幸¹、本間 智¹

¹ 金沢医科大学解剖学 II

ポスター発表

P-18 ～ P-25

C 会場

10月12日(日) 11:00～12:00: 奇数番号 14:30～15:30: 偶数番号

P-18 相同モデルを使った欠損頭蓋の修復

○谷尻 豊寿¹、谷尻 かおり¹、松村 博文²

¹株式会社メディックエンジニアリング、²札幌医科大学・解剖

P-19 伝石田三成頭蓋レプリカの3D形態解析

○大野 憲五¹、波田野 悠夏^{2,3}、池田 知哉¹、竹下 直美¹、川久保 善智⁴

¹佐賀大・医・法医、²東北大・歯学研究科、³東北大・学際科学フロンティア研究所、⁴佐賀大・医・解剖人類

P-20 伝石田三成頭蓋の石膏レプリカの欠損部の復元

波田野 悠夏^{1,2}、川久保 善智³、竹下 直美⁴、大野 憲五⁴、萩原 康雄^{5,6}、小坂 萌²、吉田 貴恵²、○鈴木 敏彦²

¹東北大・学際科学フロンティア研究所、²東北大・歯学研究科、³佐賀大・医・解剖人類、⁴佐賀大・医・法医学、⁵新潟医療福祉大・リハ・理学療法、⁶新潟医療福祉大・自然人類学研究所

P-21 骨格からの中顔部表面形状復元法の検証と伝石田三成頭蓋レプリカの復顔への応用

○川久保 善智¹、波田野 悠夏^{2,3}、大野 憲五⁴、竹下 直美⁴

¹佐賀大・医・解剖人類、²東北大・歯学研究科、³東北大・学際科学フロンティア研究所、⁴佐賀大・医・法医

P-22 主成分分析による指先と爪の形状の多様性の解析

○今泉 和彦¹、白井 詩織^{1,2}

¹科学警察研究所、²東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

P-23 日本人特異的遺伝変異の起源と影響

○中 伊津美¹、渡部 裕介¹、一色 真理子^{1,2}、大橋 順¹

¹東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻、²アルバートアインシュタイン医科大学遺伝学科

P-24 ポリネシア・トンガ人集団の GCG 遺伝子におけるネアンデルタール人由来変異の代謝への影響

○三輪 華子¹、中 伊津美¹、一色 真理子^{1,2}、木村 亮介³、古澤 拓郎⁴、夏原 和美⁵、山内 太郎⁶、石田 貴文¹、大塚 柳太郎⁷、稲岡 司⁸、松村 康弘⁹、大橋 順¹

¹東京大学大学院理学系研究科、²Departments of Genetics, Albert Einstein College of Medicine、³琉球大学大学院医学研究科、⁴京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科、⁵東邦大学大学院看護学研究科、⁶北海道大学大学院保健科学研究所、⁷東京大学大学院医学系研究科、⁸佐賀大学農学部、⁹文教大学健康栄養学部管理栄養学科

P-25 Genomic Insights into Ancient Populations around Lake Baikal in Buryatia

○ SATO, T.¹, TSYDENOVA, N.², OTANI, I.³, DAMBUEVA, I.^{2,4}, KIMURA, R.¹

¹Grad. Sch. of Medicine, Univ. of the Ryukyus, ²IMBTS, Russian Acad. of Sciences, ³Hakubi Center, Kyoto Univ., ⁴IBPN, Russian Acad. of Sciences

ポスター発表

P-26 ～ P-33

C 会場

10 月 12 日 (日) 11:00 ～ 12:00 : 奇数番号 14:30 ～ 15:30 : 偶数番号

- P-26 歯種ごとの形態変異を制御する遺伝領域の特定：人類進化モデルとしてのスunks**
○森田 航^{1,2}、目加田 和之³、山中 淳之⁴
¹ 国立科学博物館生命史研究部、² 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻、³ 岡山理科大学理学部、⁴ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科機能形態学分野
- P-27 *ADH1B* 及び *ALDH2* 遺伝子多型と飲酒時の呼気中アルコール濃度・生理応答との関連**
○西村 貴孝¹、本井 碧¹、濱 もも²、安田 幸太郎³、申 鬱敬¹、荒木 維子²、豊島 秀夫⁴、夏 亜麗⁵、大橋 智昭⁵、栗山 斉昭⁵、宮内 友那⁵、西村 英伍¹、元村 祐貴¹、勝村 啓史¹、樋口 重和¹
¹ 九州大学大学院芸術工学研究院、² 九州大学大学院統合新領域学府、³ 九州大学大学院芸術工学府、⁴ 福岡浦添クリニック、⁵ 株式会社本田技術研究所
- P-28 クレペリンの疾患概念に再考を促す症例：短期記憶障害と海馬萎縮の改善を認めたアルツハイマー型認知症**
○塩沢 真揮¹
¹ 独立行政法人国立病院機構菊池病院地域拠点型認知症疾患治療センター
- P-29 DNA メチル化情報に基づく低圧曝露による免疫細胞構成変動の縦断評価**
○稲葉 勇太¹、西村 貴孝²、有馬 弘晃³、勝村 啓史²、太田 博樹⁴、中山 一大¹
¹ 東京大学大学院新領域創成科学研究科、² 九州大学大学院芸術工学研究院、³ 長崎大学熱帯医学研究所、⁴ 東京大学大学院理学系研究科
- P-30 Investigating Individual Differences in Diet-Induced Thermogenesis in East Asians**
○JIN, Y.¹, NAKAYAMA, K.¹
¹ Dept. of Integrated Biosciences, Grad. Sch. of Frontier Sciences, University of Tokyo
- P-31 韓国の考古学から見た弥生人の原郷**
○李陽洙¹、宋永鎮²、申動勳³
¹ 国立清州博物館、² 慶尚国立大学校博物館、³ ソウル大学校医科大学
- P-32 牧野家 8 代正室 長姫に認められた煙管の使用痕**
○佐宗 亜衣子¹、奈良 貴史¹
¹ 新潟医療福祉大学自然人類学研究所
- P-33 AI を用いた矢状縫合による人骨の死亡時年齢推定 2**
○清水 大輔¹、谷尻 豊寿²、谷尻 かおり²、橋本 裕子¹
¹ 中部学院大学、² メディックエンジニアリング

ポスター発表

P-34 ～ P-41

C 会場

10 月 12 日 (日) 11:00 ～ 12:00 : 奇数番号 14:30 ～ 15:30 : 偶数番号

- P-34 コラーゲン抽出の副産物に対する古代プロテオーム解析**
○ 葛谷 匠¹
¹ 総研大・統合進化
- P-35 土壌墓認定における P、C/N、粒度分布調査の有効性**
○ 渡辺 正巳^{1,2}、瀬戸 浩二²
¹ 文化財調査コンサルタント株式会社、² 島根大学エスチュアリー研究センター
- P-36 大物遺跡出土の平安～中世期人骨・動物骨の食性復元と死体遺棄習慣の検証**
○ 板橋 悠¹、米田 穰²、丸山 真史³
¹ 筑波大学人文社会系、² 東京大学総合研究博物館、³ 東海大学人文学部
- P-37 骨製サイコロの素材は何か？—骨組織形態学と ZooMS による種同定**
○ 澤田 純明^{1,2}、江田 真毅³、泉 洋江³、谷川 真由²、佐伯 史子¹、福井 淳一⁴
¹ 新潟医療福祉大学自然人類学研究所、² 新潟医療福祉大学理学療法学科、³ 北海道大学総合博物館、⁴ 北海道埋蔵文化財センター
- P-38 九州・沖縄地方のメダカのゲノム多様性解析の経過報告 —水田稲作農耕との関連を求めて**
○ 勝村 啓史^{1,2,3}、五十嵐 耀⁴、鹿野 雄一⁵、秋山 辰穂^{2,3}、小川 元之^{2,3}
¹ 九州大学大学院芸術工学研究院、² 北里大学医学部、³ 北里大学大学院医療系研究科、⁴ 北里大学理学部、⁵ 一般社団法人九州オープンユニバーシティ
- P-39 炭素・窒素安定同位体分析で判明した福島県・宮城県に生息するニホンザルの食性の傾向**
○ 塩谷 誠章¹、鈴木 敏彦¹、小坂 萌¹、波田野 悠夏^{1,2}、米田 穰³
¹ 東北大・歯学研究科、² 東北大・学際科学フロンティア研究所、³ 東京大・総合研究博物館
- P-40 古代ゲノムからみる オホーツク文化期出土「カラフトブタ」の由来**
○ 糸井 梨香子¹、上 奈穂美²、加藤 博文³、佐藤 孝雄⁴、浜田 晋介⁵、寺井 洋平^{1,6}、五條堀 淳^{1,6}
¹ 総合研究大学院大学、² 国立歴史民俗博物館、³ 北海道大学、⁴ 慶應義塾大学、⁵ 日本大学、⁶ 統合進化学研究センター
- P-41 現代と古代のゲノム多様性から探るキビの西方拡散の歴史**
○ 熊谷 真彦¹、水野 文月²、ウトゥバエフ＝ジャンボラット (Утубаев Жанболат)³、竹井 恵美子⁴、オングアリ＝アハン (Онгариулы Акан)³、遠藤 英子⁵、山田 孝²、黒崎 久仁彦²、植田 信太郎⁶、庄田 慎矢⁷
¹ 農研機構・分析研、² 東邦大学・医学部、³ マルグラン考古学研究所、⁴ 大阪学院大学・国際学部、⁵ 明治大学・黒耀石研究センター、⁶ 東京大学・理学系研究科、⁷ 奈良文化財研究所

ポスター発表

P-42 ～ P-46

C 会場

10 月 12 日（日） P-42、P-43 ～ P46：14:30 ～ 15:30

P-42 挑戦する考古学教育 - 地域遺産を活かす子ども向け歴史教育のデジタル実践 -

○橋本 裕子¹、佐古 和枝²、中西 裕見子²、深澤 芳樹³

¹ 中部学院大学、² 関西外国語大学、³（独法）国立文化財機構奈良文化財研究所

P-43 小学校における「人類の出現から旧石器時代」に関する歴史学習の必修化を求める声明

○日本考古学協会¹、日本人類学会²、日本旧石器学会³

P-44 小学校教科書における旧石器時代の記載の変遷と学習指導要領（1）

○日本考古学協会社会科・歴史教科書等検討委員会¹

P-45 小学校教科書における旧石器時代の記載の変遷と学習指導要領（2）

○日本旧石器学会¹

P-46 小・中・高で学習する人類の起源と進化の歴史と生物としてのヒト：人類学普及委員会の提言

○日本人類学会人類学普及委員会¹

市民公開シンポジウム

古人骨から何がわかるか

＝東アジア社会の中で弥生人と古墳人の多様性を考える＝

海峡メッセ下関（10 階）国際会議場

10 月 13 日（月）13:15 ～ 16:20

【シンポジウム開催の目的】

人類学が現代社会に何を提言することができるのか、また、未来へどのような指針を提示することができるのか、を考えていくために、現代日本人の祖型が形成されたとみられる弥生時代と古墳時代に焦点を絞り、人骨の形態と DNA 分析の結果や、考古学的資料をもとにして弥生時代と古墳時代の政治的・社会的背景を東アジアの中で俯瞰することによって、日本列島人にみられる多様性の様相についての理解を深めることを目的に開催します。

13:15 ～ 13:20 **開会行事（開会のあいさつ）**

13:20 ～ 13:50 **1. 人骨形態からのアプローチ「弥生人と古墳人の多様性」**

松下 孝幸

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

13:50 ～ 14:20 **2. DNA 解析からのアプローチ**
「古代 DNA の解析から探る現代日本人の形成過程と遺伝的多様性」

大橋 順

東京大学大学院理学系研究科教授

14:20 ～ 14:50 **3. 「東北アジアの新石器時代・青銅器時代と弥生時代」**

宮本 一夫

九州大学名誉教授

14:50 ～ 15:00 **休憩**

15:00 ～ 15:30 **4. 「朝鮮半島と弥生・古墳時代」**

武末 純一

福岡大学名誉教授

15:30 ～ 15:50 **5. 「三国丘陵の渡来人～弥生時代の日韓交流の考古学的検討」**

山崎 頼人

京都府京都文化博物館

15:50 ～ 16:10 **6. 「古墳時代集落遺跡における渡来人集団―北部九州を中心に―」**

重藤 輝行

佐賀大学教授

16:10 ～ 16:20 **閉会行事**